

新学術領域研究と他の研究種目の重複制限について

(基本的考え方)

- 重複制限の基本的考え方に人材育成の観点を加えてはどうか。
- ・ 各研究種目の趣旨・性格を踏まえ、重複制限を設定。
- ・ 1人が多額の研究費を受ける種目は、研究専念義務の考え方に基づき、他種目の研究の同時実施を認めない。
- ・ 多額の研究費が1人に集中することを避け、限られた財源でより多くの研究者が研究できるようにするため、同一研究種目・審査区分内、または性格が類似する研究種目においては、複数の研究の同時実施を認めない。
- ・ 研究目的・性格、研究実施形態等が異なり、研究の活性化、新展開【や研究人材育成の促進：追加】が期待でき、1課題当たりの研究費も多額でなく研究費の過度の集中も生じない場合は、複数研究の同時実施を認める。
- ・ 各研究種目の審査体制に応じた応募件数の適正化を図る観点から、応募制限・受給制限を使い分ける。
- ・ 現行の重複制限は主として研究代表者を対象とし、研究分担者については、一部を除き重複対象外としている。

(新学術計画代表者と基盤(S)代表者)

- 基本的考え方に基づき、新学術領域研究計画研究代表者と基盤研究(S)研究代表者については、多額の研究費が1人の研究者に集中しないよう、新規研究課題についての重複応募は認められているが、双方採択された場合、どちらか1件を選択する受給制限が設けられている。
- 新学術領域研究と基盤研究は研究目的・性格、研究実施形態等が異なり、双方の受給を認めることにより、研究の活性化、新展開が期待できると考えられる。
また、新学術領域研究と科研費以外の大型の競争的資金との重複受給は認められている。このため、審査において研究の差別化とそれぞれの展開が認められる場合には、新学術領域研究・計画研究代表者と基盤研究(S)研究代表者の重複受給を認めてもよいのではないかと考えられる。

(特推分担者と新学術計画代表者)

(特推分担者と新学術公募代表者)

- 基本的考え方に基づき、特別推進研究・研究分担者と新学術領域研究・計画研究代表者、特別推進研究・研究分担者と新学術領域研究・公募研究代表者は、多額の研究費が 1 人の研究者に集中しないよう、それぞれ新規研究課題についての重複応募は認められているが、双方採択された場合、特別推進研究分担者の研究に専念することとなっている（グループ型研究（重点領域研究）との制限：平成 2 年度～）。
- 新学術領域研究と特別推進研究は研究目的・性格、研究実施形態等が異なり、双方の受給を認めることにより、研究の活性化、新展開や研究人材育成の促進が期待できると考えられる。

また、特別推進研究分担者は、他の大型研究費（基盤研究（S）や科研費以外の競争的資金）との重複受給は認められており、審査において研究の差別化とそれぞれの展開が認められる場合には、特別推進研究分担者にここまでの制約を課すことは必要ないのではないか。
- なお、特別推進研究研究分担者と領域代表者との重複応募制限については、従来通り継続することが適当ではないか。

公募要領における「重複応募制限」の取扱いについて

【昭和62年度】

同一研究者が全研究種目を通じて研究代表者又は研究分担者として多数の研究計画に参加することは避けられたい。特に、次に掲げる事項に反するものは、審査の対象とならないので注意すること。

- ① 一般研究（継続の研究課題も含む）及び奨励研究（A）については、同一研究者が研究代表者として申請できる研究課題数は、両研究種目を通じて1件に限るものとする。
- ② 総合研究（A）、総合研究（B）、試験研究の各研究種目（継続の研究課題も含む）については、同一研究者として申請できる研究課題数は、それぞれの種目ごとに1件に限るものとする。

【平成2年度】

同一研究者が全研究種目を通じて研究代表者又は研究分担者として多数の研究計画に参加することは避けられたい。特に、次に掲げる事項に反するものは、審査の対象とならない。

- ① 「一般研究」及び「奨励研究（A）」については、同一研究者が研究代表者として申請できる研究課題数は、これらの研究種目を通じて1件に限る。
- ② 「試験研究（A・B）」（継続課題も含む）については、同一研究者が研究代表者として申請できる研究課題数は、両種目を通じて1件に限る。
- ③ 「総合研究（A）」（継続課題も含む）、及び「総合研究（B）」については、同一研究者が研究代表者として申請できる研究課題数は、それぞれの研究種目ごとに1件に限る。
- ④ 「重点領域研究」の「計画研究」の研究代表者については、「重点領域研究」の他の研究領域への研究代表者（「公募研究」も含む。）としての申請は原則として認められない。
- ⑤ 特別推進研究の継続課題の研究代表者及び研究分担者は、他の研究種目には、代表・分担を問わず申請は原則として認められない。

別表1 重複制限一覧表

1-1)「研究代表者(新規・継続)(甲欄) → 研究代表者(乙欄)」型

本表は、「甲欄の研究課題(日本学術振興会が公募する研究種目)について研究代表者として応募しようとする者又は平成24年度に継続が予定されている研究課題(継続研究課題)の研究代表者となっている者」が、乙欄の研究課題に研究代表者として応募する場合の重複制限を示したものです。

甲欄			乙欄										新学術領域研究			挑戦的萌芽研究
			特別推進研究	基盤研究S	基盤研究A		基盤研究B		基盤研究C	若手研究A	若手研究B	研究領域提案型				
					一般	海外学術調査	一般	海外学術調査	一般			総括班	計画研究	公募研究		
					新規	新規	新規	新規	新規						新規	
代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者				
特別推進研究	新規	代表者	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	×	■	■	■
	継続	代表者	—	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
基盤研究S	新規	代表者	□	—	■	■	×	×	×	×	×	□	※			
	継続	代表者	□	—	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			
基盤研究A	一般	新規	代表者	□	□	—	★	×	★	×	×	×				
		継続	代表者	□	▲	—	★	▲	★	▲	▲	▲				
	海外学術調査	新規	代表者	□	□	★	—	★	×	★	×	×				
		継続	代表者	□	▲	★	—	★	▲	★	▲	▲				
基盤研究B	一般	新規	代表者	□	×	×	★	—	★	×	×	×				
		継続	代表者	□	▲	▲	★	—	★	▲	▲	▲				
	海外学術調査	新規	代表者	□	×	★	×	★	—	★	×	×				
		継続	代表者	□	▲	★	▲	★	—	★	▲	▲				
基盤研究C	一般	新規	代表者	□	×	×	★	×	★	—	×	×				×
		継続	代表者	□	▲	▲	★	▲	★	—	▲	▲				▲
若手研究S	継続	代表者	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲
若手研究A	新規	代表者	□	×	×	×	×	×	×	—	×					
	継続	代表者	□	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲					
若手研究B	新規	代表者	□	×	×	×	×	×	×	×	—					×
	継続	代表者	□	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	—					▲
挑戦的萌芽研究	新規	代表者	□						×		×					—
	継続	代表者	□						▲		▲					—
研究活動 スタート支援	継続	代表者	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

空欄: 双方の研究課題とも応募できる

—: 同一の研究種目(審査区分)においては、一つの研究課題にのみ応募できる(甲欄の継続研究課題を有する場合は、乙欄の研究課題に応募できない)

×: 一つの研究課題にのみ応募できる(甲欄の研究課題に応募した場合には、乙欄の研究課題に応募できない)

▲: 乙欄の研究課題に応募できない(甲欄の継続研究課題の研究のみ実施する)

■: 双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、甲欄の研究課題の研究のみ実施する

□: 双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、乙欄の研究課題の研究のみ実施する

※: 双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、いずれか一方の研究課題の研究のみを研究者が選択し、実施する

★: 原則として重複応募は認めない(明らかに異なる2つの研究を同一年度内に行う必要がある場合を除く)

1-2)「研究代表者(新規・継続)(甲欄) → 研究代表者(乙欄)」型

本表は、「甲欄の研究課題(文部科学省が公募する研究種目)について研究代表者として応募しようとする者又は平成24年度に継続が予定されている研究課題(継続研究課題)の研究代表者となっている者」が、乙欄の研究課題に研究代表者として応募する場合の重複制限を示したものです。

甲欄			乙欄									
			特別推進研究	基盤研究 S	基盤研究 A		基盤研究 B		基盤研究 C	若手研究 A	若手研究 B	挑戦的萌芽研究
					一般	海外学術調査	一般	海外学術調査	一般			
			新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	
			代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	
新学術領域研究(研究領域提案型)	総括班	新規	代表者	×	■							
		継続	代表者	▲	▲							
	計画研究	新規	代表者	□	※							
		継続	代表者	□	▲							
	公募研究	新規	代表者	□								
		継続	代表者	□								
特定領域研究	計画研究	継続	代表者	□								
	公募研究	継続	代表者	□								

空欄：双方の研究課題とも応募できる

×：一つの研究課題にのみ応募できる（甲欄の研究課題に応募した場合には、乙欄の研究課題に応募できない）

▲：乙欄の研究課題に応募できない（甲欄の継続研究課題の研究のみ実施する）

■：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、甲欄の研究課題の研究のみ実施する

□：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、乙欄の研究課題の研究のみ実施する

※：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、いずれか一方の研究課題の研究のみを研究者が選択し、実施する

2-1)「研究代表者(新規・継続)(甲欄) → 研究分担者(乙欄)」型

本表は、「甲欄の研究課題(日本学術振興会が公募する研究種目)について研究代表者として応募しようとする者又は平成24年度に継続が予定されている研究課題(継続研究課題)の研究代表者となっている者」が、乙欄の研究課題に研究分担者として参画する場合の重複制限を示したものです。

甲欄			乙欄								
			特別推進研究	基盤研究 S	基盤研究 A		基盤研究 B		基盤研究 C	新学術領域研究	挑戦的萌芽研究
					一般	海外学術調査	一般	海外学術調査		研究領域提案型	
新規	継続	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規			
分担者	分担者	分担者	分担者	分担者	分担者	分担者	分担者	分担者			
特別推進研究	新規	代表者	×	■	■	■	■	■	■	■	
	継続	代表者	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
基盤研究 S	新規	代表者									
	継続	代表者									
基盤研究 A	一般	新規	代表者								
		継続	代表者								
	海外学術調査	新規	代表者								
		継続	代表者								
基盤研究 B	一般	新規	代表者								
		継続	代表者								
	海外学術調査	新規	代表者								
		継続	代表者								
基盤研究 C	一般	新規	代表者								
		継続	代表者								
若手研究 S	継続	代表者									
若手研究 A	新規	代表者									
	継続	代表者									
若手研究 B	新規	代表者									
	継続	代表者									
挑戦的萌芽研究	新規	代表者									
	継続	代表者									
研究活動 スタート支援	継続	代表者									

空欄：双方の研究課題とも応募できる

×：一つの研究課題にのみ応募できる（甲欄の研究課題に応募した場合には、乙欄の研究課題に応募できない）

▲：乙欄の研究課題に応募できない（甲欄の継続研究課題の研究のみ実施する）

■：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、甲欄の研究課題の研究のみ実施する

2-2)「研究代表者(新規・継続)(甲欄) → 研究分担者(乙欄)」型

本表は、「甲欄の研究課題（文部科学省が公募する研究種目）に研究代表者として参画しようとする者又は平成24年度に継続が予定されている研究課題（継続研究課題）の研究代表者となっている者」が、乙欄の研究課題に研究分担者として参画する場合の重複制限を示したものです。

甲欄				乙欄								
				特別推進研究	基盤研究 S	基盤研究 A		基盤研究 B		基盤研究 C	挑戦的萌芽研究	
						一般	海外学術調査	一般	海外学術調査	一般		
						新規	新規	新規	新規	新規		
分担者	分担者	分担者	分担者	分担者	分担者	分担者						
新学術領域研究（研究領域提案型）	総括班	新規	代表者	×								
		継続	代表者	▲								
	計画研究	新規	代表者	□								
		継続	代表者	□								
	公募研究	新規	代表者	□								
		継続	代表者	□								
特定領域研究	計画研究	継続	代表者	□								
	公募研究	継続	代表者	□								

空欄：双方の研究課題とも応募できる

×：一つの研究課題にのみ応募できる（甲欄の研究課題に応募した場合には、乙欄の研究課題に応募できない）

▲：乙欄の研究課題に応募できない（甲欄の継続研究課題の研究のみ実施する）

□：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、乙欄の研究課題の研究のみ実施する

3-1)「研究分担者(新規・継続)(甲欄)→研究代表者(乙欄)」型

本表は、「甲欄の研究課題(日本学術振興会が公募する研究種目)に研究分担者として参画しようとする者又は平成24年度に継続が予定されている研究課題(継続研究課題)の研究分担者になっている者」が、乙欄の研究課題に研究代表者として応募する場合の重複制限を示したものです。

甲欄			乙欄										挑戦的萌芽研究		
			特別推進研究	基盤研究 S	基盤研究 A		基盤研究 B		基盤研究 C	若手研究 A	若手研究 B	新学術領域研究			
					一般	海外学術調査	一般	海外学術調査	一般			研究領域提案型			
												総括班		計画研究	公募研究
新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規			
代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者			
特別推進研究	新規	分担者	×									×	■	■	
	継続	分担者	▲									▲	▲	▲	
基盤研究 S	新規	分担者	□												
	継続	分担者	□												
基盤研究 A	一般	新規	分担者	□											
		継続	分担者	□											
	海外学術調査	新規	分担者	□											
		継続	分担者	□											
基盤研究 B	一般	新規	分担者	□											
		継続	分担者	□											
	海外学術調査	新規	分担者	□											
		継続	分担者	□											
基盤研究 C	一般	新規	分担者	□											
		継続	分担者	□											
挑戦的萌芽研究		新規	分担者	□											
		継続	分担者	□											

空欄：双方の研究課題とも応募できる

×：一つの研究課題にのみ応募できる（甲欄の研究課題に応募した場合には、乙欄の研究課題に応募できない）

▲：乙欄の研究課題に応募できない（甲欄の継続研究課題の研究のみ実施する）

■：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、甲欄の研究課題の研究のみ実施する

□：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、乙欄の研究課題の研究のみ実施する

3-2)「研究分担者(新規・継続)(甲欄) → 研究代表者(乙欄)」型

本表は、「甲欄の研究課題(文部科学省が公募する研究種目)に研究分担者として参画しようとする者又は平成24年度に継続が予定されている研究課題(継続研究課題)の研究分担者となっている者」が、乙欄の研究課題に研究代表者として応募する場合の重複制限を示したものです。

甲欄				乙欄									
				特別推進研究	基盤研究 S	基盤研究 A		基盤研究 B		基盤研究 C	若手研究 A	若手研究 B	挑戦的萌芽研究
						一般	海外学術調査	一般	海外学術調査	一般			
				新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規	新規
				代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者	代表者
(研究領域提案型)	計画研究	新規	分担者	<input type="checkbox"/>									
		継続	分担者	<input type="checkbox"/>									
特定領域研究	計画研究	継続	分担者	<input type="checkbox"/>									
	公募研究	継続	分担者	<input type="checkbox"/>									

空欄：双方の研究課題とも応募できる

□：双方の研究課題とも応募できるが、双方採択となった場合には、乙欄の研究課題の研究のみ実施する